

いざっ！というときに備えて…

飲料水の 備蓄を…



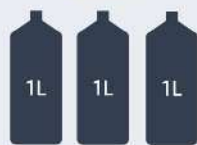
2022年 静岡県での応急給水活動状況

大規模な自然災害などが発生すると、水道管の破裂などで水道が使えなくなる可能性があります。
そのようなときに備えて、飲料水の備蓄にご協力をお願いします。

？
備蓄の
目安は？



1人×3L×3日分 **約9L**



！「3日分」は、最低限必要な量です。
保管場所などに余裕がある場合は7日分
の備蓄をおすすめします。

？
備蓄の
方法は？



必要な量の備蓄水を保存期限ごと買い替える他に、
ローリングストック法という方法があります



備える
蓄える



補充
する

使う



保存期限の長い災害用備蓄飲料水を購入し保存する方法の他に、飲み水などを普段から少し多めに買い置きし、賞味期限の近いものから消費し、消費した分だけ買い足し一定量をストックしておく「ローリングストック法」という方法があります。

！ ローリングストック法のメリット

重たい水を、まとめて購入する必要がなく、普段のお買い物の範囲で少しずつ購入することができ、保管スペースも減らすことができます。

！
応急給水
施設を確認
しておこう！



応急給水施設（川田水源送水場）

大規模災害時など被災状況により水道施設が破損し各家庭に水道水が供給できない場合には、市内38か所の応急給水施設で水道水をお配りします。
いざという時に備えて、ご自宅近くの応急給水施設を確認しておきましょう！

※詳しくは豊田市ホームページをご覧ください。



！
容器・台車
を用意
しておこう



応急給水施設などで水をくむときに備えてポリタンクなどの容器や運ぶための道具を用意しておきましょう。
水はとても重いので、自宅までの道のりやご自身の体力に合わせ、使いやすいものを用意しておきましょう！

ポリタンク以外にビニールリュックタイプのものも、あります！



おうちにあるかチェックしてみよう



トイレ回数は1人1日約5回で想定し、家族7日分以上備蓄しましょう。



携帯トイレ

$$\begin{array}{c} \text{1人1日} \\ \text{約5回} \end{array} \times \begin{array}{c} \text{家族の} \\ \text{人数分} \end{array} \times \begin{array}{c} \text{7日分} \\ \text{以上} \end{array} = \begin{array}{c} \text{4人家族の場合} \\ \text{約140枚} \\ \text{必要} \end{array}$$

参考：節約型の備蓄量例 ※吸収量との兼ね合いがあります。

大便…1人1日1回、1回ごとに携帯トイレを交換

小便…1人1日4回、3回使用ごとにトイレを交換

家族4人で…

大使用
1枚×4人
×7日=28枚

+

小使用
4枚×4人×7日
÷3=37枚

合計

= 65枚
必要!



ここが重要!

おうちでのトイレ対策 携帯トイレを使う

●携帯トイレの使い方 製品の使い方説明書をよく確認して使いましょう。

- 1 便器にポリ袋をかぶせた後にその上から携帯トイレ(便袋)を設置。

排泄後、携帯トイレだけを交換すれば、底面に水がつかず、おうちの床が濡れない。

- 2 用を足し、汚物を固める。

- ▶ 吸収シートタイプ:凝固シートで固める。
- ▶ 粉末状・錠剤の凝固剤のタイプ:用を足す前もしくは後に振りかける。

- 3 携帯トイレだけ取り出し空気を抜いて口を強くしぼる。

- 4 密閉できる容器で収集まで保管する。

- ▶ ふた付きゴミバケツや汚物処理専用の保管袋などを使う。
- ▶ 使用済み便袋は、市町村のゴミ収集方法にしたがって処理する(可燃ゴミとして処理される自治体が多い)。

●どういう時に使う?

「流す水が出ない(上水道)」 「トイレの水が流せない(下水道)」 。いずれの場合も、トイレ空間が安全で便器が使用可能であれば、携帯トイレを使いましょう。

携帯トイレ



おうちで生活できる
なら、おうちのトイレ
が一番安心!



出典:「防災マニュアルブック(家庭における災害時のトイレ対策編)」

(埼玉県/平成28年3月制作)